

With

ウィズ

北海道社会事業協会帯広病院

〒080-0805 帯広市東5条南9丁目2番地
TEL:0155(22)6600 FAX:0155(22)6620
<http://www.obihiro-kyokai-hsp.jp/>

No. 4

発行日
2011.5.12

地域の患者さんと共に、地域と共に！ 地域医療連携ニュース



(帯広畜産大学構内・撮影 北村光明)

今号の内容

- 整形外科のご紹介 2
- スポーツ外来について 2
- 眼科のご紹介 3
- 各診療科医師名簿（平成23年4月現在） 4
- 第4回地域医療連携講演会の報告 4

整形外科の紹介

整形外科について

平成21年4月整形外科診療を再開してから3年目に突入します。現在、札幌医大から派遣常勤医師3名と非常勤医師6名のスタッフで診療を行っております。

急性期病床50床、手術件数560件（平成22年度）救急疾患、地域連携によりご紹介頂いた患者様も外傷はほとんどの症例で即日手術の対応をしております。

また、大学から非常勤医師応援による部位別専門外来（脊椎、手の外科、肩関節、股関節）、疾患別（骨軟部腫瘍、スポーツ）専門診において高度な専門医療を実践しています。

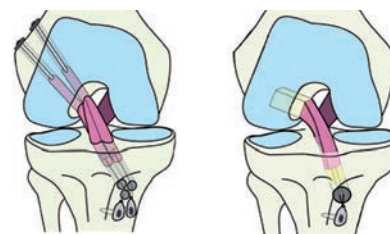


医長 鈴木 智之

前十字靭帯再建術に関して

日本における膝靭帯再建術の第一人者、史野根生先生の元に留学し、また大阪大学で研究していた最新の半月板、軟骨治療を導入しています。移植腱を症例毎に使い分けていますが、再断裂もしくは経年的に劣化し半月板軟骨損傷を生じた症例の再々建術には膝蓋腱を用います。

複合靭帯損傷は一次的に再建術施行し、半月板は極力温存修復術に努めています。



半腱様筋腱を用いた解剖学的2重または3重再建術

膝蓋腱を用いた長方形骨孔解剖学的再建術

変形性膝関節症治療に関して

保存療法中心です。関節鏡視下半月板切除術やデブリードマンは特別な場合を除いて行いません。手術治療は最小侵襲人工膝関節置換術（8 cm未満の術創）ないしは、同じく8 cm以内の傷で関節鏡を併用した高位脛骨骨切術により軟骨の再生を促します。人工関節単顆型の症例数が多いのも特徴です。



最小侵襲手術に関して

当院では肩腱板損傷・肩関節脱臼等の肩関節疾患、足部・足関節疾患も内視鏡治療を実践しています。

脊椎手術に関して

当科では、頸髄症に対し選択的椎弓形成術を、腰椎椎間板ヘルニア及び腰部脊柱管狭窄症に対し、内視鏡による手術を行っています。いずれも低侵襲（2～3 cm程度の傷）手術で、道内でも行っている施設はわずかです。関心のある患者様がいましたら気軽にご相談ください。

スポーツ外来に関して

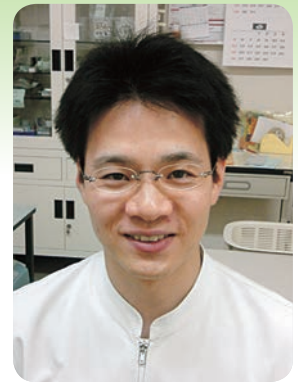
大学病院からの応援を受けてトレーニングを受けた専門理学療法士によるスポーツリハビリテーション、メディカルチェック、各種競技の帯同等フィールド活動にも力を入れています。受診した患者さまの実に7割の患者さんにスポーツリハビリテーションを実施しています。お困りの症例ございましたら、ご相談あるいはご紹介ください。

眼科の紹介

眼科常勤2名体制を維持

当院眼科は今年度も常勤医師2名体制を維持し、これまで地域医療を支えてきた開業医の先生方とも益々連携を取り、患者さんによりよい医療を提供できるよう努力してゆきたいと思っております。今年度は古くより使用していた眼底カメラの買い替えと、光干渉断層計 (OCT) 新規導入を行う予定でございます。それに伴いより一層の糖尿病網膜症の病期診断、ぶどう膜炎・糖尿病黄斑症に対するステロイドテノン嚢下注射、加齢黄斑変性症に対するルセンチス治療に力を入れてゆく所存でございます。

また全身疾患を有した患者さん、あるいは全身麻酔を必要とする患者さんに対する手術を積極的に行ってゆこうと考えております。通常の両眼白内障手術の入院期間もこれまでの11日から月曜入院、日曜退院の1週間に短縮する予定でございます。



医長 堀江 幸弘

ぶどう膜炎について

私自身これまで口腔内アフタ性潰瘍、眼症状、皮膚症状、外陰部潰瘍を四大主症状とするベーチェット病に関する研究、そして両眼性のぶどう膜炎、髄膜刺激症状、内耳障害を主症状とする原田病に関する研究を行ってまいりました。

昨年7月には私たちは HLA-B51 以外の新たなベーチェット病の疾患関連遺伝子 (IL10 と IL23R-IL12RB2) を同定し米国雑誌 *Nature Genetics*. [2010 Aug;42:703] にその結果を報告しました。これからもより一層サルコイドーシス、ベーチェット病、原田病に伴うぶどう膜炎、また原因不明のぶどう膜炎などに対する診断・治療に力を入れてゆきたいと思っております。

nature
genetics



Genome-wide association studies identify *IL23R-IL12RB2* and *IL10* as Behçet's disease susceptibility loci

Nobuhisa Mizuki^{1,13}, Akira Meguro^{1,13}, Masao Ota², Shigeaki Ohno³, Tomoko Shiota¹, Tatsukata Kawagoe¹, Norihiko Ito¹, Jiro Kera¹, Eiichi Okada⁴, Keisuke Yatsu⁵, Yeong Wook Song⁶, Eun Bong Lee⁶, Nobuyoshi Kitaichi⁷, Kenichi Namba⁸, Yukihiro Horie⁸, Mitsuhiro Takeno⁹, Sunao Sugita¹⁰, Manabu Mochizuki¹⁰, Seiamak Bahram^{11,12},

Yoshiaki Ishigatsubo⁹ & Hidetoshi Inoko⁵

Behçet's disease is a chronic systemic inflammatory disorder characterized by four major manifestations: recurrent ocular symptoms, oral and genital ulcers and skin lesions¹. We conducted a genome-wide association study in a Japanese

Although a previous study also performed a preliminary GWAS using the DNA pooling method with the Affymetrix 500K arrays in Turkish individuals and reported several non-*HLA* susceptibility loci and genes for Behçet's disease⁴, their study was limited by monotonous

第4回地域医療連携講演会

平成23年3月2日



第4回地域医療連携室主催講演会が協会病院3階講堂で、『肝・胆・脾の読影講座 ～基礎から鑑別診断まで』と題して、札幌医科大学放射線医学講座の河合有里子先生を講師に開催されました。出席者は十勝管内からの先生方をはじめ医師25名のほか、市内や管内町村に勤務する放射線技師、臨床検査技師の方も23名と多く参加されてました。院内職員も合わせて総勢62名の方々が研修されました。今後も、超音波診断、核医学診断、各診療科治療など最新治療の紹介などのテーマで講演会を企画する予定です。

今年も恒例の地域医療連携懇親会を6月中旬に開催いたします。



帯広協会病院各科医師名簿

平成23年4月1日

科 目	役 職	氏 名	科 目	役 職	氏 名	
第一内科 (消化器)	外来診療部長	たかむら たけのり 高村 毅典	外 科	病 院 長	きゆうの けんいち 及能 健一	
	主任医長	やつ たかふみ 谷津 高文		病棟診療部長	あべ ひろのり 阿部 厚憲	
	医 師	まつなが やすたか 松永 康孝		主任部長	くらはし かつし 蔵貫 勝志	
第二内科 (循環器)	名誉院長	ふかい たかお 深井 隆夫		主任医長	かたやま ともなり 片山 知也	
	病棟診療部長	いしもと ろう 石本 朗		医 長	ひろかたげん たろう 廣方玄太郎	
	主任部長	あがた じゅん 縣 潤		医 師	みずかみ たつぞう 水上 達三	
	主任医長	ないとう かずゆき 内藤 和幸		眼 科	医 長	ほりえ ゆきひろ 堀江 幸弘
医 長	よこやま かつたけ 横山 豊	医 師			のざき まよ 野崎 真世	
第三内科 (呼吸器)	主任部長	たけざわ ちかこ 竹澤 周子		婦 人 科	副 院 長	はやかわ おむね 早川 修
	医 師	もり ゆうき 森 勇樹			医 長	まつうら もとむね 松浦 基樹
	医 師	こだまけん たろう 小玉賢太郎	医 長		たにがき えり 谷垣 衣理	
小 児 科	主任部長	あおやぎ はやと 青柳 勇人	医 師		はばたしゅう たろう 幅田周太郎	
	部 長	はつとり てつお 服部 哲夫	医 師	たまて まさと 玉手 雅人		
	医 師	なるがみ まさし 鳴神 雅史	神 経 科	外来診療部長	たかはし とし 高橋 徹	
	医 師	やまぐち たけし 山口 健史		麻 酔 科	副 院 長	しみず けいじ 清水 斎
医 師	こんどう えいすけ 近藤 英輔	主任医長	きくち ちはる 菊地 智春			
泌尿器科	主任部長	くにしま やすはる 國島 康晴	医 師		あづま えり 阿部 慧玲	
	医 長	みやもと しんたろう 宮本慎太郎	医 師		と の ざき しのぶ 戸ノ崎志乃	
	医 長	しま まさき 島 正樹	整 形 外 科	主任医長	すずき ともゆき 鈴木 智之	
脳神経外科	主任部長	かんの みつぶ 菅野 三信		医 長	かわむら しゅうじ 河村 秀仁	
	耳鼻咽喉科	医 長		おおたけ じゅん 大浦 淳	医 師	おかだ ようへい 岡田 葉平
研修医		医 師	やまかど てつひろ 山角 哲弘	健診センター 医 師	あづま けい 吾妻 裕	



北海道社会事業協会帯広病院
責任発行 地域医療連携室

病院代表 電話 0155-22-6600
地域医療連携室 FAX 0155-22-6620